



# 羽幌町 エコアイランド構想



平成 26年4月



## 北海道羽幌町

## 1 羽幌町エコアイランド構想について

羽幌町は、北海道北西部に位置し、日本海に面した農山漁村の「まち」であり、沖合24kmには、暑寒別天売焼尻国定公園に指定(平成2年8月)されている「天売島」と「焼尻島」があります。

天売島は、北西にやや細長く、西海岸が断崖絶壁となっています。その断崖絶壁は、世界有数の海鳥繁殖地として、国の天然記念物に指定されており、日本国内では天売島で唯一繁殖する「ウミガラス(オロロン鳥)」が飛来するほか、ウトウが世界最大のコロニーを形成するなど、繁殖時期になると100万羽を超える海鳥が本島で生活を送っています。

このため天売島は、西海岸の断崖絶壁に住む「海鳥」と、東海岸に住む「人」が、はっきりと住み分けされた貴重な島として、注目を浴びております。

一方、焼尻島は、東西にやや細長く、多くの緑に覆われ、オンコをはじめとした約50種15万本もの植物が生育し、天然記念物にも指定されています。特にオンコ(イチイ)は、国内随一の規模を誇る5万本もが生育し、なかでも「オンコの荘」と呼ばれる一帯は、300年もの長きにわたって風雪に耐えた巨木が、上から押しつぶされたように枝を広げて育っています。

このように、天売島と焼尻島は、恵まれた豊かな自然環境の下、「人と自然が共生する島」として、本町の産業や観光、そして自然を生かした地域間交流などの発展に大きな影響を与えてきました。

しかし、現代社会における地球環境問題は、世界規模で大きな問題とされており、その改善に当たっては、地域毎の取組が求められています。

そこで、この素晴らしい自然が引き継がれている本町の離島において、環境社会へ順応した取組の可能性を探るため、平成24年度と25年度の2箇年にわたって、電気自動車の導入に向けた実験、小型風力等の再生可能エネルギーの導入に係る様々な調査を「天売島」で実施してきました。

その結果、島民からの深い理解及び調査結果から得られた高い可能性を基に、エコ観光の推進や再生可能エネルギーの地産地消等の取組に努め、小さな島からの地球環境の維持に向けた積極的な取組として情報発信できる「**エコアイランド**」を目指すため、本構想を立ち上げたものであります。

地球環境問題の改善に当たっては、日常生活から国レベルによる取組まで、様々な方面でのそれぞれの動きが高い効果を生み出していくことが期待されています。

私たちも当たり前となっている生活スタイルを再度見つめなおし、身近でできる地道な活動の積み重ねが住んでいる環境を保持し、後世へ引き継がれていくことを常に意識していかなければなりません。

平成26年4月25日

北海道羽幌町長 舟橋 泰博

## 2 天売島・焼尻島の現状と特性

### 2-1 エネルギー利用の現状

天売・焼尻島で使用される電力は、北海道電力(株)が焼尻島に設置する火力発電所で発電され、天売島へは海底ケーブルにより供給されています。

また、自然エネルギーについては、北海道が設置する公衆トイレやフットパス休憩所に風力や太陽光が利用されているのみで、島全体における利活用が検討されていないことから、平成24年度から25年度の2箇年にわたり、羽幌町エコアイランド構想実証プロジェクトとして、その可能性を調査しています。

電気消費量(H25.1からH25.12まで)

天売・焼尻 年間消費電力量(kwh)	天売島 年間消費電力量(kwh)	焼尻島 年間消費電力量(kwh)
2,738,243	1,587,808	1,150,435

その他のエネルギーについては、プロパンガスや石油製品が利用されており、プロパンガスは島内の住宅や公共施設において、主に調理用又は湯沸器用に消費され、その消費量については、統計データが存在しないため正確な数値の把握は困難であるものの、年間 10,355m<sup>3</sup>程度の消費量と推計されます。

また、島内における石油製品としては、自動車用の燃料としてガソリン、漁船や発電用の燃料として重油が消費されているほか、暖房用として灯油が主に利用されています。

### 2-2 観光産業の現状

天売島・焼尻島への観光客は、昭和49年の約6万8千人をピークに減少し、ここ数年は1万8千人前後で推移、特に夏期である7月から8月の入込が占めている状況です。

また、旅館及び民宿等宿泊施設の減少も観光客の入込と比例するように減少し、平成4年に天売・焼尻合わせて38軒あった宿泊施設は、平成25年には15軒にまで減少しています。

この他島内の移動手段は、天売島では、観光バス、レンタカー、レンタル自転車及び観光船、焼尻島では、ハイヤー(乗合)やレンタル自転車が利用されていますが、再生可能エネルギーの活用に向け、先ほど述べた羽幌町エコアイランド構想実証プロジェクトにおいて、島内における電気自動車の導入に係る実証試験を行っています。

項目	平成4年	平成25年
観光客入込数(概数)	44,000人	18,000人
宿泊施設数(収容人員)	38軒(1,660人)	15軒(623人)

## 2-3 天売島・焼尻島の特徴

- ・天売島と焼尻島は、漁業と観光業を主要産業とする島です。
- ・島内には、役場支所、警察駐在所、消防署分遣所、道立診療所、漁協支所などの公的機関、町立小中学校や高等学校(天売島のみ)の教育機関、その他高齢者支援センターや商店などがあり、生活環境が整っています。
- ・本土と両島間の人の行き来や貨物運搬は、民間企業が運航するフェリー(おろろん2)と高速船(さんらいなあ2。夏場のみ)により行われています。
- ・天売島には、人口348人、世帯数177戸が、焼尻島には、人口235人、世帯数142戸(いずれもH26.3末現在)が居住しています。



### ① 地理的特性

- ・天売島と焼尻島は、北海道北西部の羽幌町から24km沖合に浮かび、周囲がそれぞれ約12km、島の面積はそれぞれ約5km<sup>2</sup>の小さな島です。
- ・天売島は、東海岸が比較的平坦で人が居住しておりますが、西海岸は断崖絶壁で、海鳥の営巣に適していることから、ピーク時には100万羽を超える海鳥が生息し、人と海鳥が共生する貴重な島として注目を浴びています。
- ・焼尻島は、島全体がなだらかで、焼尻港から原生林を抜けた島の中心部に町営のめん羊牧場が広がっています。
- ・気候は、対馬暖流の影響を受け、北海道北部の内陸部に比べ温暖ですが、冬期間は、湿潤寒冷で積雪量が多く、北西の季節風が強い地域です。



天売島



焼尻島(奥に見えるのが天売島)

## ② 産業特性

- ・天売島焼尻島ともに、主要産業は漁業であり、季節に応じて様々な魚貝類が港で水揚げされています。特に、両島で獲れる「ウニ」は、前浜で育った栄養価の高いコンブを食べ生育しているため、味は濃厚でその美味しさは日本一とされています。
- ・観光業は、「豊かな自然」や「食」を主目的とした観光客が年間約18,000人訪れています。
- ・焼尻島には、町営の「めん羊牧場」を有しており、潮風を受けてミネラル豊富な牧草を食べ、外敵のいない環境で育った羊の臭みがなく柔らかでジューシーなラム肉は、フランス料理の高級食材として人気を集めています。



焼尻めん羊まつり  
(めん羊丸焼き)



天売うにまつり  
(海鮮網焼き)

## ③ 環境特性

- ・天売島焼尻島は、暑寒別天売焼尻国定公園の一部であり、天売島の海鳥繁殖地と焼尻島の原生林は、天然記念物に指定されています。
- ・天売島の西海岸は断崖絶壁であり、周辺一帯が世界有数の繁殖地として国の天然記念物として指定を受けています。海鳥繁殖地には、環境省の鳥類レッドリスト(絶滅危惧類)に指定されている「ウミガラス」「ケイマフリ」「ウミスズメ」が生息しているほか、約80万羽(40万つがい)がやって来る「ウトウ(善知鳥)」の世界最大のコロニーとなっており、貴重な海鳥が生息しています。
- ・焼尻島は、島の3分の1が原生林で、その数は約50種15万本とされています。特に、5万本もの木が生育するオンコ原生林は、国内随一の規模を誇るとも言われ、中でも「オンコの荘」と言われる一帯は、300年もの長きにわたり風雪に耐えた巨木が、上から押しつぶされたように枝を広げています。



海面に浮かぶウミガラス



地を這うように生息するオンコ

### 3 羽幌町エコアイランド構想実証プロジェクトの成果について

平成24年度及び25年度に実施したプロジェクトの概略を紹介します。

#### ① 電気自動車の導入に向けた取組

年度	実施内容	車両台数	期間	日数	利用者数	走行距離
24 - ①	電気自動車の試乗	1台	H24.9.10～ H24.9.14	5日	34人	165km
24 - ②	電気自動車の試乗	1台	H25.3.17～ H25.3.29	7日	18人	97km
25	①電気自動車の試乗 ②施設への電力供給	2台	H25.6.5～ H25.7.28	52日	45人	364km ※アイミーブのみ

#### ② 再生可能エネルギー導入に向けた取組

年度	実施内容	成果
24	小型風力発電施設の設置 【内容】 ・期間 H24.9.10 ～11.19 ・設置箇所 天売支所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲に建物があり、風通しが悪く、思うような発電量の成果を得ることができなかった。</li> <li>・調査箇所及び旅の宿大ーでは、バードストライクは確認されなかった。</li> <li>・「夏場に窓を開けていると風切音が気になる」との声が地域から寄せられた。</li> </ul>
25	小型風力及び太陽光発電施設の設置 【内容】 ・期間 H25.6.1～H26.3.17 ・設置箇所 天売小中学校、 天売港フェリーターミナル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年より調査箇所を変更し、特にフェリーターミナルに設置した風車の発電量は、比較的高く推移した。</li> <li>・学校敷地に設置した風車は、周辺に崖や校舎等の障害物の影響により、フェリーターミナルと比較し発電量は低い結果となったが、太陽光は一定の発電量を得ることができ、設置効果が高いことを確認することができた。</li> <li>・バードストライクは確認されなかった。</li> <li>・フェリーターミナル周辺に住宅が存在しないほか、学校敷地においても風切音が気になるという声が寄せられることはなかった。</li> </ul>

### ③ データ管理等に係る取組

年度	実施内容	内容
24	①モニターカメラの設置 ②リモートコントロールモニターの設置 ※通信はともに天売支所設置光回線を使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風車の運転の様子を撮影し、インターネットにより情報発信</li> <li>・稼働状況や発電成果を数値として記録し、モニターをインターネットにより情報発信</li> </ul>
25	①モニターカメラの設置 ②リモートコントロールモニターの設置 ※通信は、小中学校は無線LANにより天売支所へ発信し、そこから光回線を使用。港は、専用の光回線を使用	

### ④ 普及啓発に向けた取組

年度	実施内容	内容
24	①キックオフセレモニーの実施 ②WIFI中継器の設置(天売支所、天売フェリーターミナル) ③環境授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本プロジェクトのスタートを記念したセレモニーをH24.9.10に開催</li> <li>・島からの情報発信を容易くするために、ドコモ・モバイル回線を使用し設置</li> <li>・自然の力を使用した電気の作り方を広く普及するため、天売小学校の児童を対象に「風と太陽は地球の友だち、電気をつくろうエコ発電」と題した環境授業をH24.10.31に実施</li> </ul>
25	①エコアイランド天売2013の開催 ②WIFI中継器の設置(天売フェリーターミナル) ③環境授業の実施 ④海鳥カメラの設置 ⑤観光情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本プロジェクトの第2年次のスタートを記念したイベントをH25.6.15に開催</li> <li>・島からの情報発信を容易くするために、ドコモ・モバイル回線を使用し設置</li> <li>・昨年、天売小学校で実施した環境授業を天売中学校、天売高校及び焼尻小中学校で実施(焼尻小中学校 H25.9.19実施、天売中、天売高校 H25.11.6実施)</li> <li>・海鳥繁殖地の様子をリアルタイムで観察可能なカメラの設置と公開</li> <li>・無料アプリ「トラベラー北海道」及び「Layar」を利用した観光情報の提供</li> </ul>

【 電気自動車の試乗 】

項目	解析結果の主なもの
24夏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者へのアンケート結果から、全体的に好印象で関心度が高いこと(特に、環境に対する意識や防災面への活用)を確認できた。</li> <li>・エコへの関心に併せ、災害対策に対する期待度が高いことが伺えた。</li> <li>・購入及びメンテナンスに係る経費又は冬期運転及び充電施設(遠距離)に係る詳細情報が必要とされた。</li> <li>・冬道の運転、バッテリー、充電施設等に対する不安が寄せられた。</li> <li>・導入に向けては、蓄電池の寿命、車両価格、充電経費等の購入及びメンテナンスに係る費用説明が必要</li> </ul>
24冬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期における坂道走行や急停止、急発進について「まあまあ問題はない」という意見が多かった。</li> <li>・一方で、圧雪路での走行(2WD(FR)であることへの不安)、暖房の温かさ、仕事にも使用可能という部分では、「まあまあ問題はない」「どちらでもない」という意見が半数を占め、「電力消費が早い」という回答からヒーターの使用に伴う消費電力の早さに不安要素があるものと思われる。</li> </ul>
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天売島内での導入に当たっては、島の自然環境とのマッチング、島という地理的条件から、特に観光用として普及させることに対する肯定的な(導入するべき)意見がほとんどであった。</li> <li>・夏場における性能については、理解が得られている。</li> <li>・自らが所有するとなると、購入価格の面から敬遠されがちな傾向にある。</li> <li>・ある程度、電気自動車が導入された場合については、急速充電器の設置が必要と思われる。</li> </ul>

試乗車両



24年夏試乗:ミニキャブミーブ



24年冬・25年試乗:  
ミニキャブミーブトラック



25年試乗:アイ・ミーブ

【 再生可能エネルギーに係る実証試験 】

■24年度

(実証試験の概要)

□設置期間:平成24年9月10日(月)から11月19日(月)まで

□設置箇所:羽幌町大字天売 天売支所敷地内

□設置設備:ゼファー(株) Z-1000-24 1基

(発電量調査結果)

(単位:kwh)

項目	発電量			特記事項
	風力	太陽光	計	
24.09	0.1	—	0.1	全国的に好天、高温。北海道全体的に風速が小さい
24.10	2.8	—	2.8	中旬から下旬にかけて低気圧。
24.11	1.7	—	1.7	一方向からの安定的な風がなく発電量は少量
計	4.6	—	4.6	風車の立地環境が悪く、良い成果が得られなかった。

■25年度

(実証試験の概要)

□設置期間:平成25年6月1日(土)から平成26年3月17日(月)まで

□設置箇所:羽幌町大字天売 天売港フェリーターミナル

羽幌町大字天売 天売小中学校裏

□設置設備:天売港フェリーターミナル 小型風車:ゼファー(株) Z-1000-250 1基

天売小中学校裏 小型風車:ゼファー(株) Z-1000-48 1基

太陽電池 :PST203EarshON48 6枚

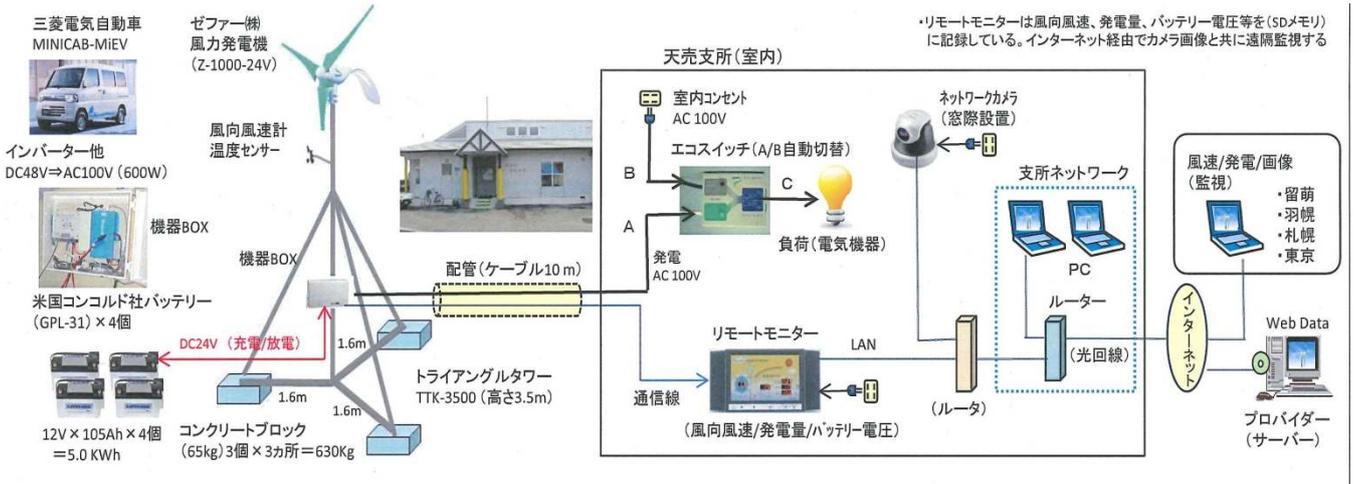
(発電量調査結果)

(単位:kwh)

項目	発電量					特記事項
	天売フェリーターミナル		天売小中学校			
	風力	計	風力	太陽光	計	
25.06	3.0	3.0	2.2	58.1	60.3	21.27.28日低気圧。21日夏至
25.07	0.2	0.2	0.0	81.0	81.0	ほぼ無風。太陽高度高い。
25.08	5.2	5.2	1.4	92.9	94.3	下旬低気圧。太陽高度高い。
25.09	2.7	2.7	0.7	76.9	77.6	4.17.26日低気圧。日射量低下
25.10	11.9	11.9	4.3	83.0	87.3	低気圧増。日射量低下
25.11	10.6	10.6	5.0	51.5	56.5	低気圧増。日射量低下
25.12	22.3	22.3	12.5	36.0	48.5	下旬ほぼ毎日強風。22日冬至
26.01	15.5	15.5	13.3	17.0	30.3	中旬から毎日強風。パネル積雪
26.02	18.4	18.4	2.8	3.4	6.2	強風日多い。 学校敷地は8日以降バッテリー容量なく発電停止。
26.03	5.7	5.7	-	-	-	強風日減少。18日設備撤去。
計	95.5	95.5	42.2	499.8	542.0	

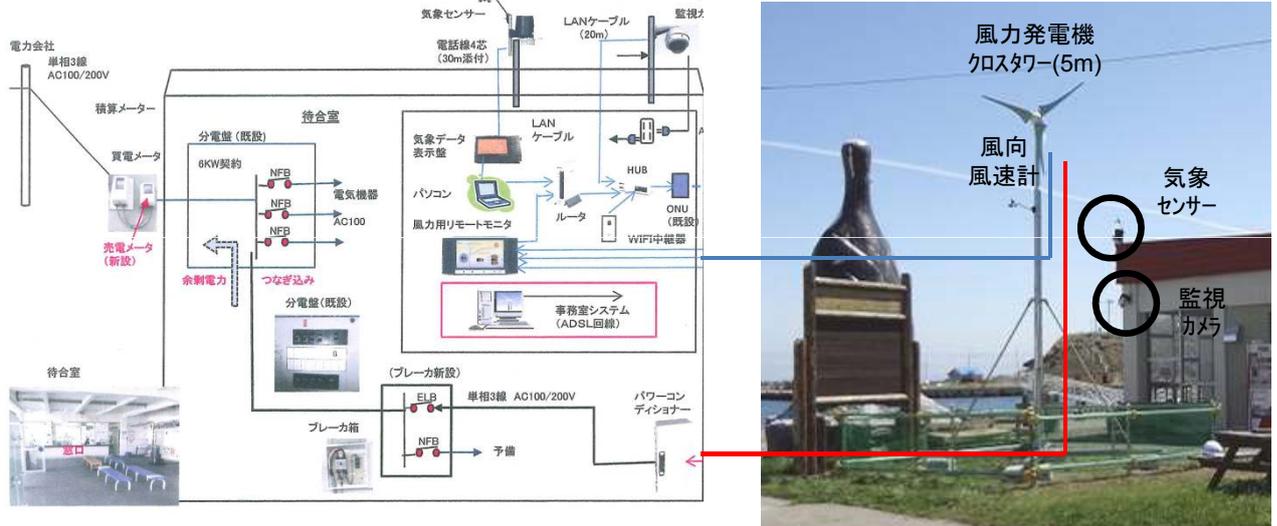
## (24年度設置システムの概要)

### ■天売支所

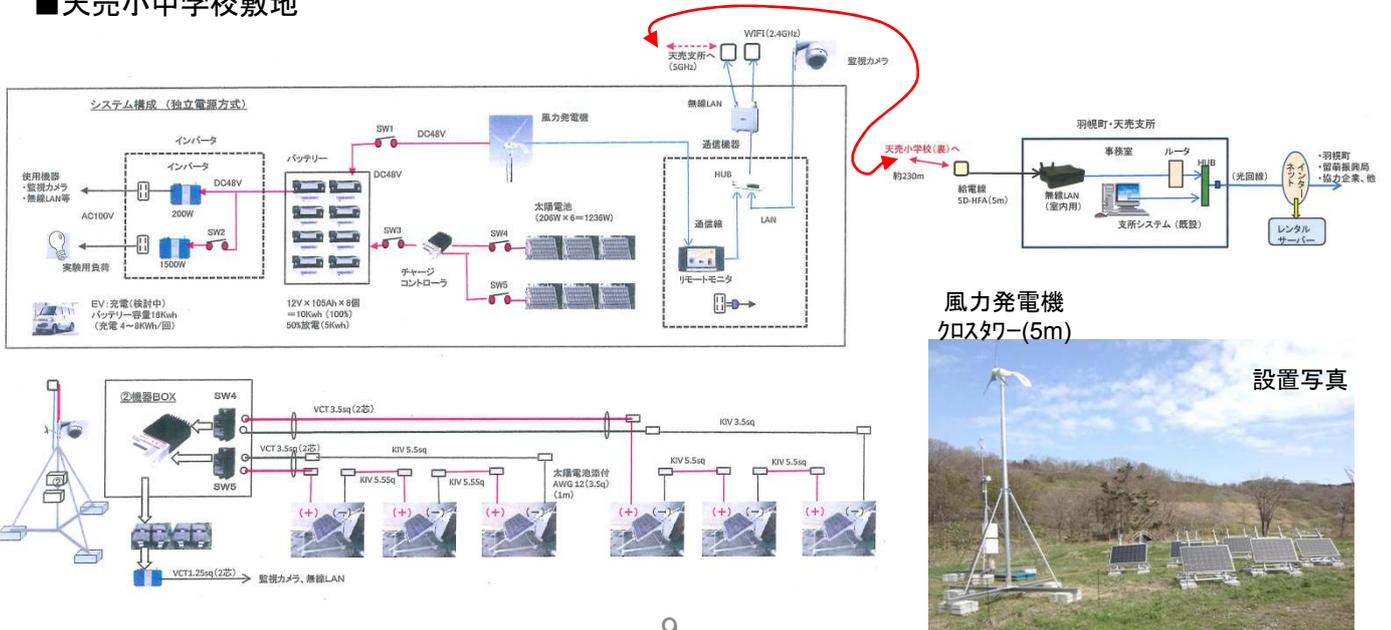


## (25年度設置システムの概要)

### ■天売港フェリーターミナル



### ■天売小中学校敷地

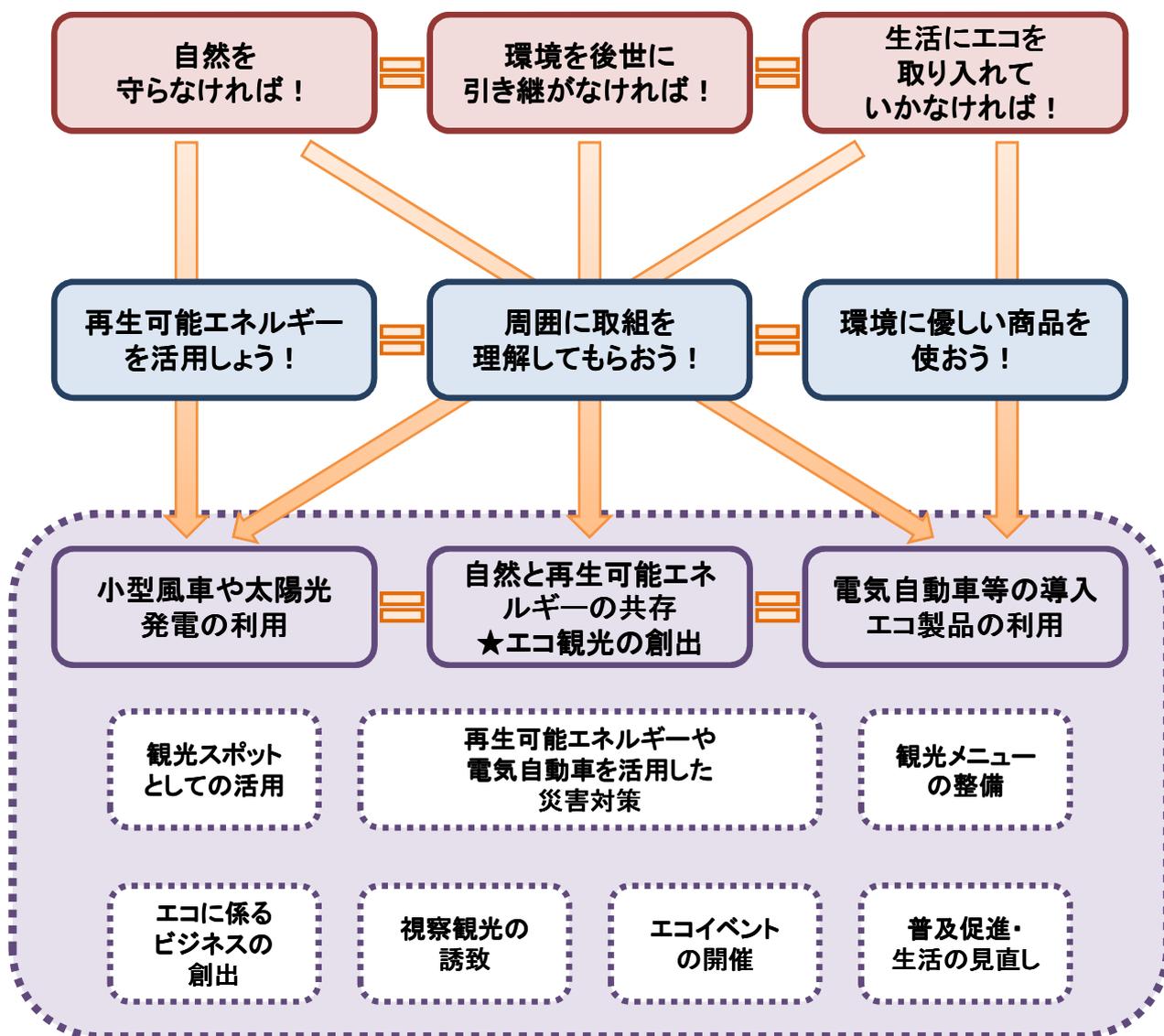


## 4 エコアイランドに向けて

天売島・焼尻島は、海鳥繁殖地やオンコ原生林など世界に誇れる自然環境を有しており、その環境は、島民や関係者の力によって長きにわたり守られ、将来に向かって後世に引き継いでいく必要があります。

このためにも、自分たちの生活スタイルをより環境に配慮したものへと見直していく必要があるほか、このような取組を多方面に情報発信し、理解を得ることによって、観光振興に結び付け、島の自然と再生可能エネルギーが共存した未来型のエコ観光を実現するものであります。

また、本離島の電力は、焼尻島にある火力発電所で発電され、その使用は、両島内で完結されていることから、二酸化炭素廃出量の抑制に努めるためにも、再生可能エネルギーの積極的な活用を図ります。



このような取組の積み重ねによって、島の自然と関連産業がマッチングし、豊かな生活基盤を構築する「エコアイランド」を目指します。

## 4-1 将来像

離島という豊かな自然環境の中で、人と動植物との共生、そして再生可能エネルギーを有効に活用し、それぞれが単体ではなく関連性を持った取組により、天売島・焼尻島がエコアイランドとなることを目指します。

### ① エネルギー施策

- ・天売島、焼尻島の特性に合った再生可能エネルギーとして、特に風力、太陽光及び太陽熱の自然エネルギーを活用し、エネルギーの地産地消を目指します。
- ・島内で使用する自家用車、バイク及び電動船舶について、省エネ仕様の車両等への積極的な転換を進めます。
- ・風力や太陽光以外の再生可能エネルギー活用の可能性について、検討します。



### ② 観光施策



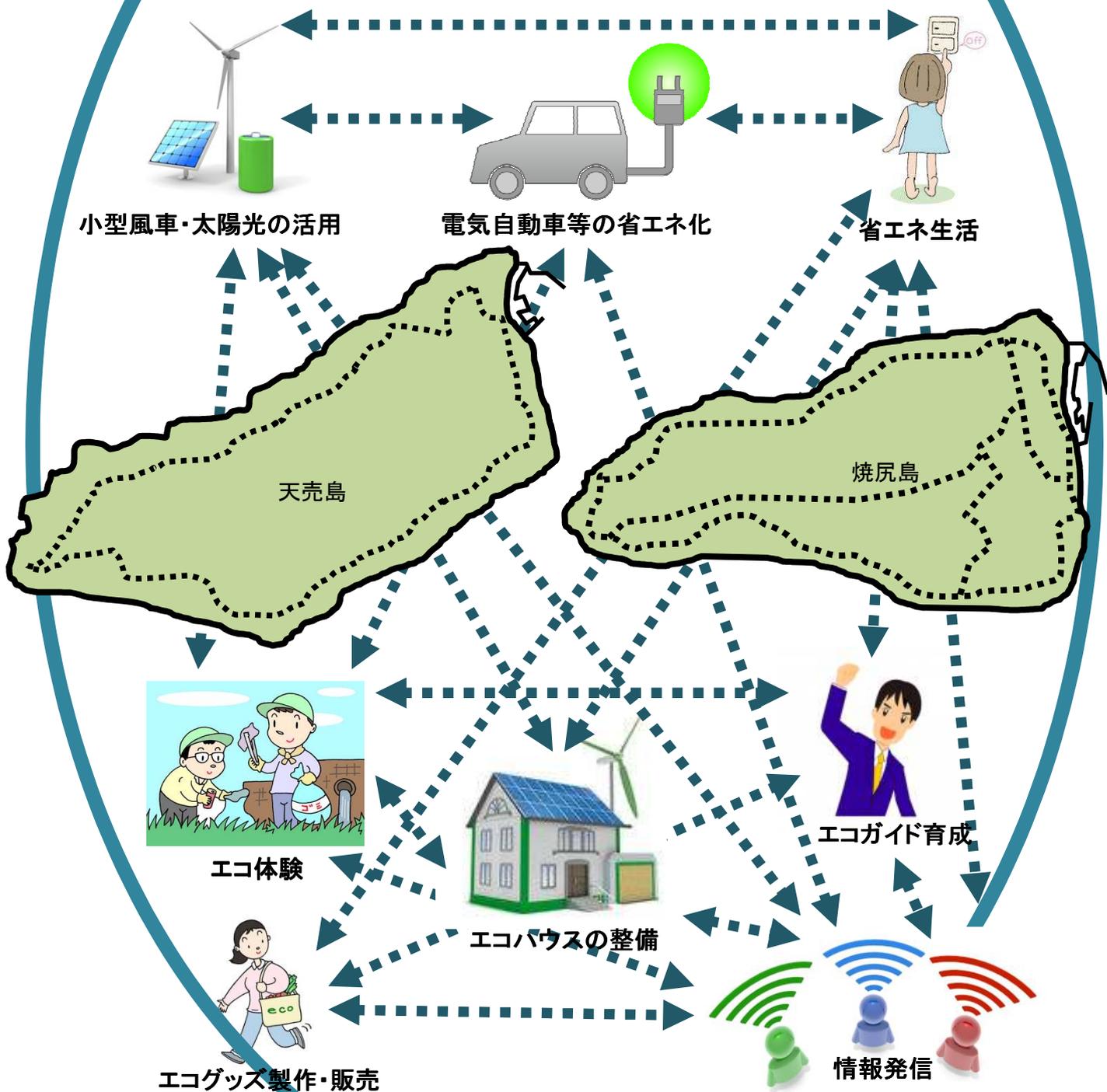
- ・従来の自然観察型観光に電気自動車等の導入を図るほか、自然エネルギーの活用に係る学習機会の提供、新規事業への取組などを通じ、観光客が自然や島民の「おもてなし」により、新たな価値を感じるような観光を目指します。
- ・災害時における避難民の受入を想定した自然エネルギーを活用した災害対策等、モデル的事業の実施により交流人口の増大と災害対策の両立を目指します。

### ③ 産業施策

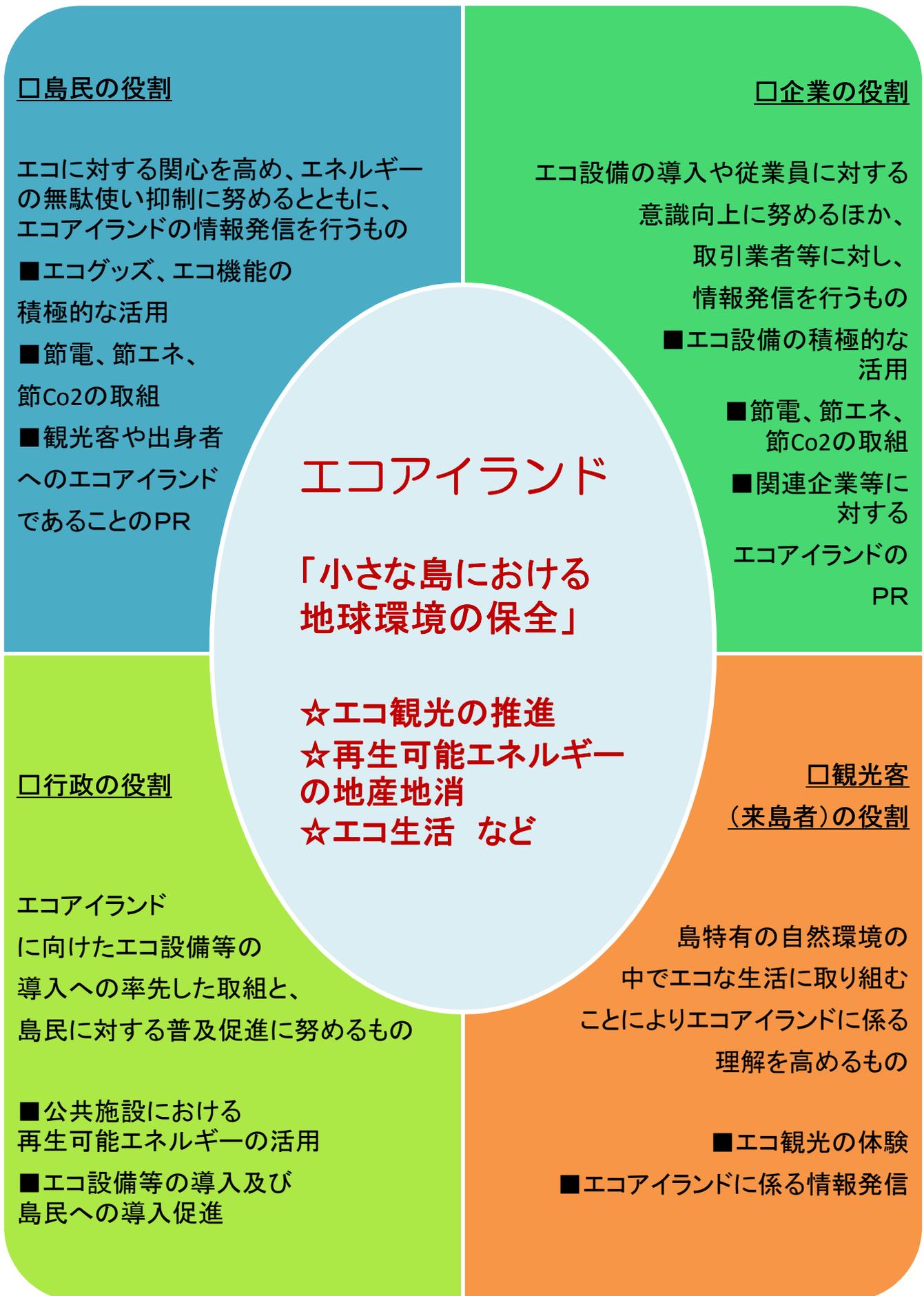
- ・自然エネルギーの導入や、新たな施策に伴う既存産業の活性化を図ることによって、雇用の創出を目指します。
- ・先進的取組による入込客の増加を図り、宿泊施設、商店等関連企業に係る活性化を図ります。



# エコアイランド



## 4-2 目指す姿



### 4-3 取組

エコアイランドに向けた取組として、町、町民及び関係団体において次の事業を進めます。

No	事業名	内 容	備 考
1	公共施設エネルギーグリーン化推進事業	■防災拠点等の公共施設において再生可能エネルギーの活用を図り、当該施設の自立等に努めるもの	町
2	小型風力及び太陽光発電設備整備補助事業	■離島に住所を有する個人及び企業で、自らの敷地に小型風車及び太陽光等の再生可能エネルギー設備を整備する場合の費用の一部を補助するもの	島民及び企業等
3	電気自動車・電動バイク・電動船舶購入及び充電用施設改修補助事業	■島に一年以上住所を有する個人又は島に所在する事務所等で使用する企業等が購入する電気自動車や電動バイクの費用の一部及び当該車両の充電施設の整備に伴う費用の一部を補助するもの	島民及び企業等
4	エコハウス整備事業	■島内の有休住宅を風力及び太陽光等の再生可能エネルギーを生かした住宅として改良し、移住定住の促進に努めるもの	町
5	電気自動車導入事業	■公用車として電気自動車を導入し、エコ活動を推進するとともに、閉庁時には地域イベント等において本自動車を貸与し、町民におけるエコに対する意識向上を図るもの	町
6	エコハウス「ちょっと暮らし」体験事業	■エコハウスを島外の方が利用可能な「ちょっと暮らし用」として貸与し、定住促進を図るもの ■移動手段として電気自動車を貸与（No5の車両を想定）	町
7	エコエコ体験ツアー事業	■電気自動車や再生可能エネルギーについて学ぶエコツアーを企画するもの	町（又は観光協会）

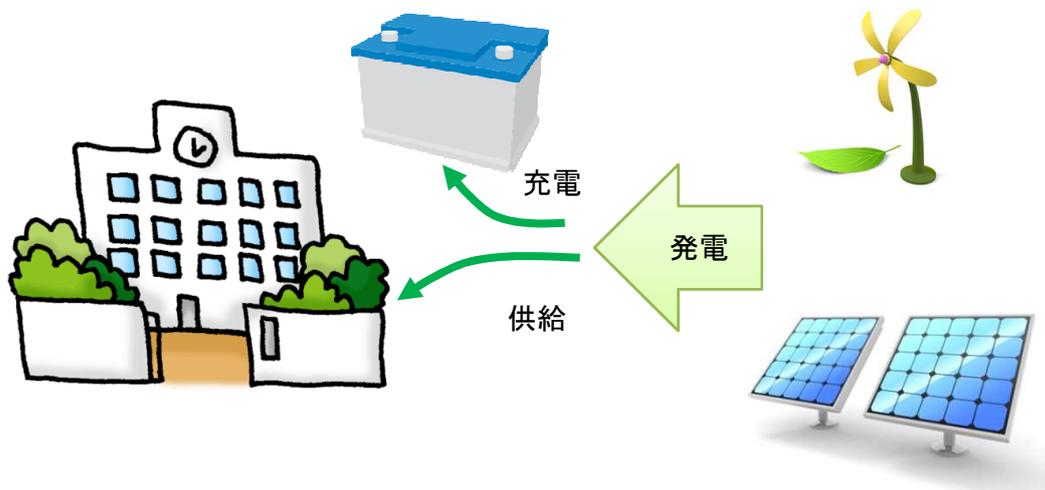
No	事業名	内 容	備 考
8	エコガイド育成事業	■エコアイランドやエコツアーに係る説明等を行うガイドの育成	町・民間団体
9	エコライフ推進事業	<p>■町内全世帯を対象に節電コンテスト等を実施。達成世帯を対象に粗品(エコバック等)を贈呈するもの</p> <p>■事業所が取り組むエコ事業(節電、自然エネルギーの活用、エコドライブ、二酸化炭素排出量の少ない燃料の使用、その他の地球にやさしい(環境に配慮した)のうち、優れた取組について表彰を行うもの</p> <p>■4R運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Refuse(リフューズ。断ること)→エコバック等の持参</li> <li>・Reduce(リデュース。減らすこと)→ゴミの減量化</li> <li>・Reuse(リユース。再利用すること)→使えるものは使う</li> <li>・Recycle(リサイクル。再資源化)→限られた資源を活用</li> </ul>	町
10	島内環境整備事業	<p>■身の回りの生活環境の整備を図るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄の防止</li> <li>・生活排水の処理 など</li> </ul>	町・島民
11	エコグッズ販売促進事業	■離島をデザインしたエコグッズを製作し、天売、焼尻及び羽幌地区で販売。売り上げは、エコアイランドに係る財源として確保するもの	民間団体

その他、関連した次の事業を行います。

No	事業名	内 容	備 考
1	アイランド情報発信	<p>■エコを含めた島に関する情報を積極的に発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネ、生活、観光地、特産品などの情報を一本化</li> </ul>	町又は民間団体
2	WIFI中継器の設置	■情報化社会に対応するため、天売港フェリーターミナルに設置	町(又は観光協会)
3	気象観測計の設置	■天売島の気象データを観測するために継続設置	町

## 公共施設エネグリーン化推進事業

- 避難所等の公共施設に小型風車や太陽光パネル等を設置し、再生可能エネルギーによる電力供給等を行うもの



- 発電された電力は、通常時は当該施設で使用。不足分は、商用電源(電力会社が販売する電力)を使用
- 災害時は再生可能エネルギーで発電された電力(及び熱)を使用

## 小型風力及び太陽光発電設備整備補助事業

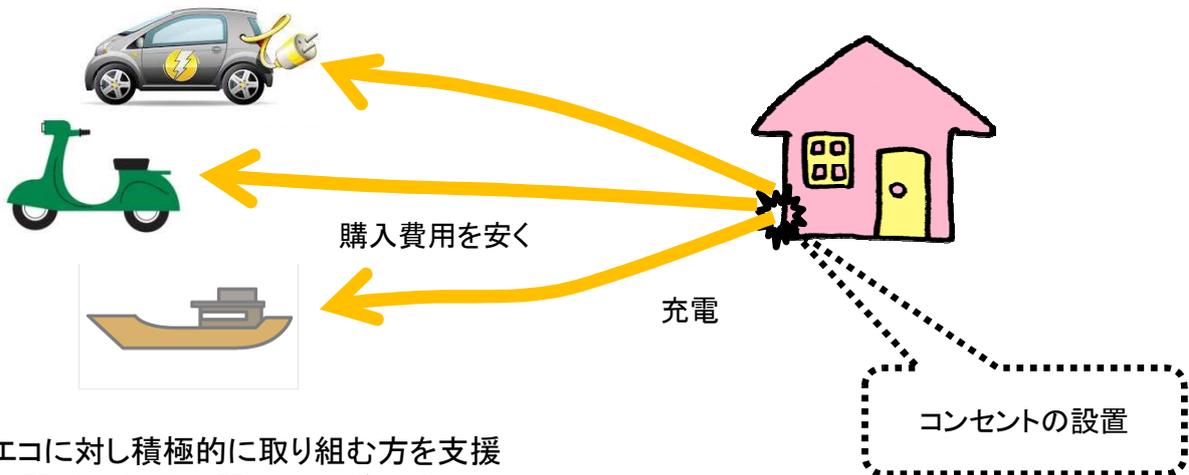
- 島民及び島内企業等が再生可能エネルギーを利用するため、自らが所有する敷地内に小型風車や太陽光パネル等の設備を整備する場合に、その費用の一部を補助するもの



- 設備購入、設置費及びシステム設定費の一部を助成

## 電気自動車・電動バイク・電動船舶購入 及び充電用施設改修補助事業

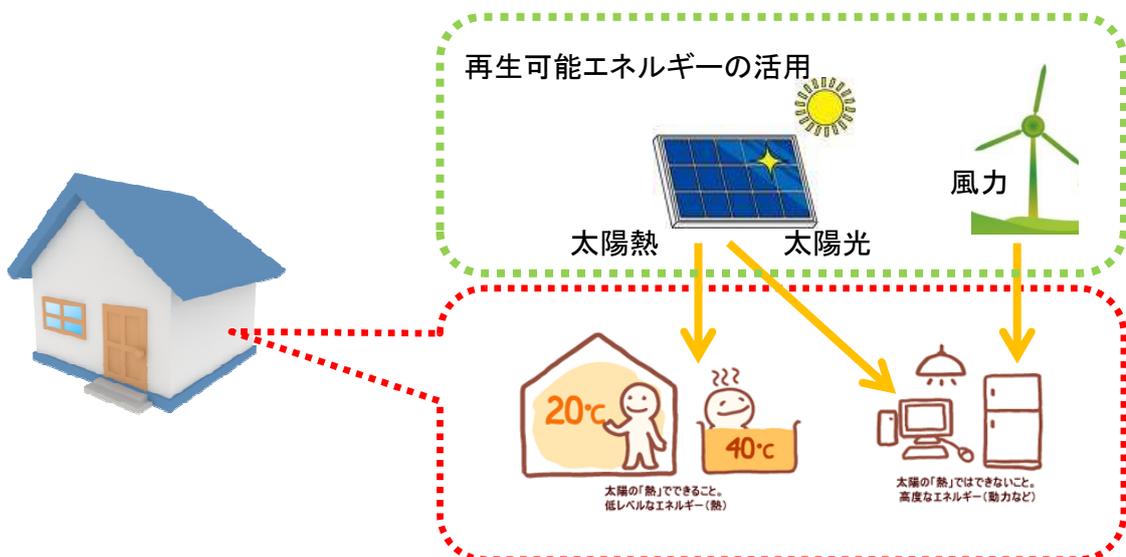
- 島民及び島内に住所を有する企業等が購入する電気自動車、電動バイク及び電動漁船の費用の一部を補助するもの
- 電気自動車等の購入に伴い必要となる充電施設の整備費用の一部を補助するもの



- エコに対し積極的に取り組む方を支援
- 夜間や未使用時間に充電が可能

## エコハウス整備事業

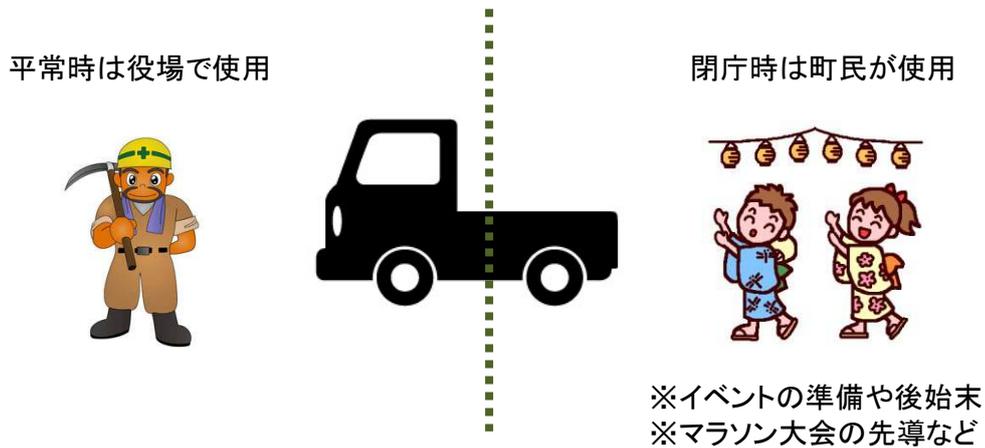
- 風力、太陽光及び太陽熱だけでエネルギーを賄う「ゼロエネルギー住宅」を整備し、島の宣伝を図り、移住定住の促進に努めるもの



- エコハウスをモデル的に整備。ちょっと暮らしに活用

## 電気自動車導入事業

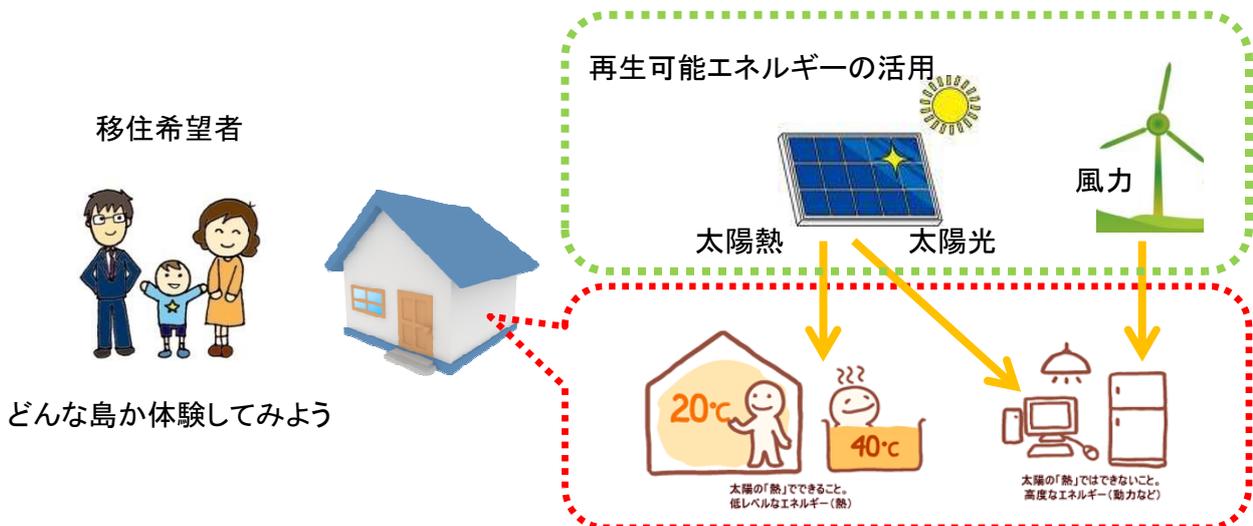
- 役場公用車として電気自動車を購入。一事業者として、エコ活動を推進するとともに、閉庁時はイベント等に貸与し、町民への普及促進とエコに対する意識の向上に努めるもの



- 電気自動車の普及を促進
- 事前申込により町民が使用(公共性のあるものに限定)

## エコハウス「ちょっと暮らし」体験事業

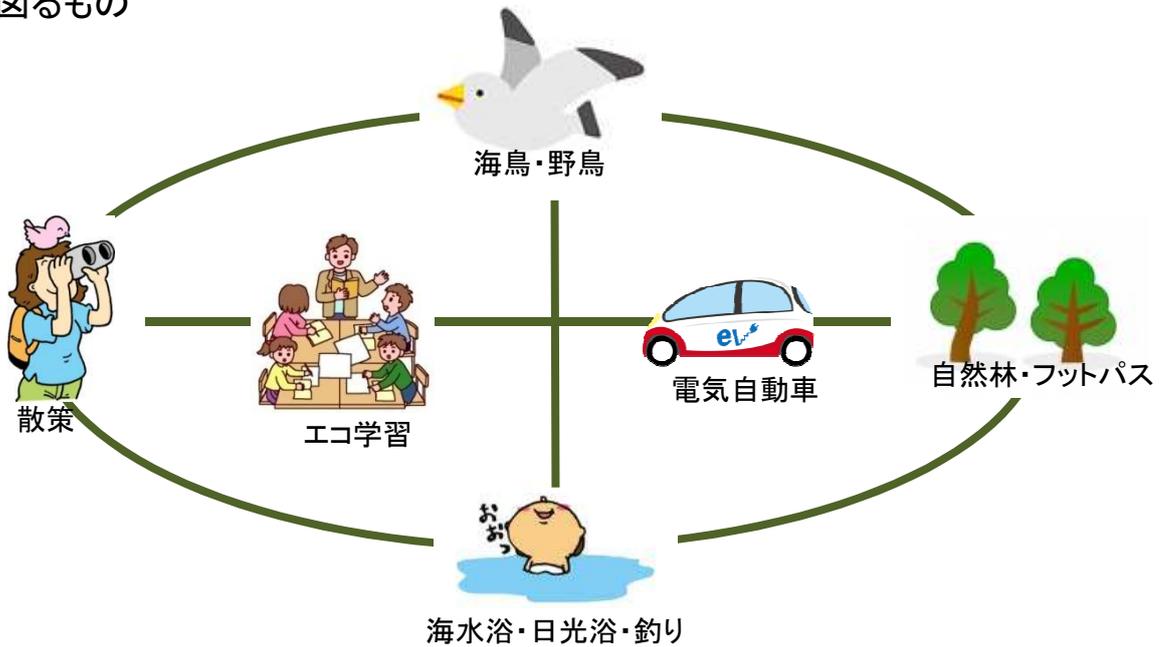
- 「ゼロエネルギー住宅」として整備した施設を、島内への移住希望者が、体験的に利用するもの



- 複数泊の方を対象に貸出
- 希望者へ電気自動車を貸与

## エコエコ体験ツアー事業

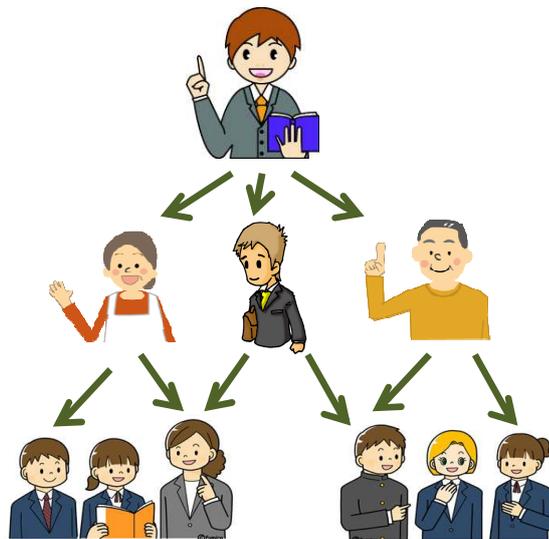
- 観光客等が島の自然や取組を満喫できるよう体験ツアーを企画し、集客力の向上を図るもの



- 島の魅力を兼ね揃えた体験ツアーの企画

## エコガイド育成事業

- 体験ツアー実施の受け皿となるガイドを育成するもの



- 「おもてなし」の気持ちを持ったガイドの育成

## エコライフ推進事業

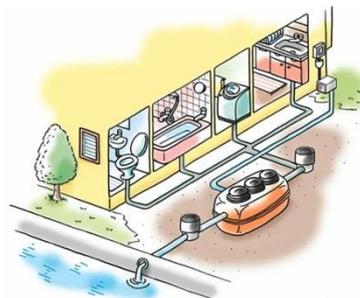
- 町内におけるエコへの関心を高めるものとして、日常生活でのエコに取り組むを推進するもの



- 各世帯を対象とした節電コンテストの実施
- 事業所が取り組むエコ事業（節電、自然エネルギーの活用、二酸化炭素排出量の少ない燃料の使用、その他地球にやさしい環境に配慮した取組など）
- 4R運動の推進（Refuse（リフューズ。断ること）、Reduce（リデュース。減らすこと）、Reuse（リユース。再利用すること）、Recycle（リサイクル。再資源化））

## 島内環境整備事業

- 身の周りの生活環境の整備を推進するもの



- 不法投棄の排除
- 合併処理浄化槽の設置促進による生活排水処理環境の向上

## エコグッズ販売促進事業

- 離島をモチーフとしたエコグッズを製作、販売(下記はグッズの例)



エコハシ



マイカップ



エコバック

- 売上収入をエコアイランド事業に係る財源として確保